

# 国際日本学部とは

2019年4月に新設を予定している国際日本学部は、世界のなかの「日本」を、全体として学ぶことを目的としています。1,2年次には、日本の政治・経済・社会、日本文学・文化、日本語、日本語教育を総合的に学ぶ「国際日本コアカリキュラム」を、そして3、4年次では、一つ分野を専門的に学びます。学びの環境は、世界各地からの留学生との共学です。教育で用いられる言語は、英語と日本語。国際的な視野から日本を学び、世界に向けて日本を発信していく意欲のある学生を求めます。

募集人員

募集単位	一般入試 (前期日程)	推薦入試	帰国生等 特別推薦入試	留学生を対象とする入試	
				日本留学試験利用入試	海外高校推薦入試
国際日本学科	35人	10人	若干名	20人	10人

## 1 一般入試(前期日程)

大学入試センター試験の成績、本学学力検査の成績及び調査書の内容により総合して行います。

大学入試センター試験の受験を要する教科・科目(5教科5科目または5教科6科目)

教科		科目	成績利用
国語		「国語」	必須
数学	①	「数学Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学A」	1科目選択 なお、複数の科目を受験した場合は、 高得点の科目の成績を利用します。
	②	「数学Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学B」、 「簿記・会計」、「情報関係基礎」	
外国語		「英語(リスニングを含む)」、 「ドイツ語」、「フランス語」、 「中国語」、「韓国語」	1科目選択
地理歴史		「世界史A」、「世界史B」、 「日本史A」、「日本史B」、 「地理A」、「地理B」	6科目のうち1科目を選択 …… a
公民		「現代社会」、「倫理」、 「政治・経済」、 「倫理、政治・経済」	4科目のうち1科目を選択 …… b
理科	①	「物理基礎」、「化学基礎」、 「生物基礎」、「地学基礎」	4科目のうち2科目を選択 …… c
	②	「物理」、「化学」、 「生物」、「地学」	4科目のうち1科目を選択 …… d

(注)「地理歴史・公民」を2科目受験した場合、または「理科②」を2科目受験した場合、もしくはどちらの教科も2科目受験した場合は、その受験順により成績の利用が制限されることがあります。具体的には、「地理歴史・公民」の第1解答科目は必ず利用し、残りの1つについては、「地理歴史・公民」の第2解答科目と「理科①」、「理科②」(「理科②」を2科目受験した場合は、その第1解答科目)の中で受験した科目のうち、高得点の成績を利用します。

本学学力検査実施教科・科目

教科	科目	試験時間
外国語	英語(リスニングを含む)	150分
地理歴史	「日本史」または「世界史」1科目選択	60分
外国語(外部試験)	英語スピーキング	約15分

(注)英語スピーキングの試験は、本学がブリティッシュカウンシルと共同で開発するBCT-S(British Council-TUFS Speaking Test For Japanese Universities)を本学会場で実施します。

大学入試センター試験及び本学学力検査の配点

試験区分	教科						合計
	国語	数学	外国語	地理歴史	公民	理科	
大学入試センター試験	100点	50点	200点	100点(50点×2)			450点
本学学力検査	-	-	300点	100点			400点
計	100点	50点	500点	200点			850点

(注)本学学力検査の外国語は、英語(リスニングを含む)と英語スピーキングの合計点(300点)です。

# 推薦入試

出身学校長の推薦に基づき、大学入試センター試験及び個別学力検査等を免除して、書類審査、小論文、及び面接等により合格者を決定します。

## 1 出願資格

高等学校若しくは中等教育学校を2019年3月に卒業見込みで、下記の推薦要件のすべてを満たす者。ただし、推薦できる者の数は、1校あたり1名とします。

## 2 推薦要件

- 調査書の学習成績概評A段階に属する者
- 英語の資格・検定試験において、CEFR B2以上を取得している者
- 高等学校等において、国際的な課題をテーマとする思考力を重視した探究的な学習や、国際交流に関する活動に取組み、コミュニケーション能力、問題解決力などの国際的な素養を身に付けた者
- 外国語の習得に意欲を持ち、外国語科目において優れた成績を残している者
- 出身学校長が責任を持って推薦できる者
- 合格した場合には、必ず入学することが確約できる者

## 3 実施時期

- |               |         |            |         |
|---------------|---------|------------|---------|
| (1)出願         | 11月初旬   | (3)第2次選考   | 12月初旬   |
| (2)第1次選考合格者発表 | 11月中旬以降 | (4)最終合格者発表 | 12月中旬以降 |

## 4 選抜方法

- 第1次選考  
提出書類等により総合的に判断し可否を決定します。
- 第2次選考  
第1次選考合格者に対して、小論文及び面接を行います。  
・小論文は、その場で与えられた課題について、小論文を課します。  
・面接は、志望理由、高校等までの学習歴、入学後の学修計画、特筆すべき課外活動・社会活動に関し、質疑を行います。

## 5 出願書類等

- 出身学校長の推薦書(指導教員の評価をふまえ、学力の3要素についての評価を記載)
- 調査書
- 大学入学希望理由書(本学を志望する理由、本学部を志望する理由とともに将来的な希望を記載すること。)
- 活動報告書(「総合的な学習」等の探究的な学習について記す場合は、レポートなどの成果物と、その成果物に対する担当教員の評価文などを添付すること。教科・科目以外の特筆すべき活動については、その活動時期やそこから得たものとともに記述すること。英語以外の外国語の学習歴(検定結果を持つ場合は添付)や留学経験がある場合は必ず含めること。)
- 次の英語の資格・検定試験のCEFR B2以上のスコア(Cambridge English、GTEC CBT、GTEC for STUDENTS、TEAP、TEAP CBT、IELTS、TOEFL iBT、TOEIC/TOEIC S&W、英検)

# 帰国生等 特別推薦入試

外国の教育制度に基づく教育機関(国内の国際バカロレア(DP)認定校を含む。)において、中等教育を受けた者を対象に、外国における教育事情の違いに配慮し、出願書類、小論文、及び面接等により志願者の能力・適性等を多面的・総合的に判定して合格者を決定します。

## 1 出願資格

2017年度「国際社会学部帰国生等特別推薦入試」の出願資格を参照。

## 2 推薦要件

- 2019年4月1日現在において基礎資格取得後1年以内であること。
- 学業・人物ともに優れ、国際日本学部における学習に強い意欲を有する者
- 出身学校長が責任を持って推薦できる者
- 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者

## 3 実施時期

- |               |         |            |         |
|---------------|---------|------------|---------|
| (1)出願         | 11月初旬   | (3)第2次選考   | 12月初旬   |
| (2)第1次選考合格者発表 | 11月中旬以降 | (4)最終合格者発表 | 12月中旬以降 |

## 4 選抜方法

- 第1次選考  
提出書類等により可否を決定します。
- 第2次選考  
第1次選考合格者に対して、小論文及び面接を行います。  
・小論文は、その場で与えられた文章を読み、小論文を課します。  
・面接は、志望理由、高校等までの学習歴、入学後の学修計画、特筆すべき課外活動・社会活動に関し、質疑を行います。

## 5 出願書類等

- 出身学校長の推薦書
- 成績証明書、調査書、国家試験等の統一試験成績証明書
- 大学入学希望理由書(本学部を志望する理由とともに、将来的な希望を記載すること。)
- 次の英語検定試験のうち、いずれかのスコア(Cambridge English、GTEC CBT、GTEC for STUDENTS、TEAP、TEAP CBT、IELTS、TOEFL iBT、TOEIC/TOEIC S&W、英検)
- 国際バカロレア資格有資格者はEE(課題論文)、その他の者は高校時代に作成したレポートなどの成果物) など

# 留学生を対象とする入試

## 1 日本留学試験利用入試

外国の学校教育における12年の課程を修了、または2019年3月31日までに修了見込みで、日本に対する強い関心を持ち、独立行政法人日本学生支援機構が実施する2018年度日本留学試験(日本語及び総合科目)を受験している者を対象に、英語外部試験と日本留学試験のスコア及び面接等により志願者の能力・適性等を多面的・総合的に判断して合格者を決定します。

## 2 海外高校推薦入試

外国の学校教育における12年の課程を修了、または2019年3月31日までに修了見込みで、高い英語力と教科一般の高い学力、日本についての強い関心を持つ者を対象に、海外の高校等から学校長の推薦に基づき、出願書類及びインターネットを活用したビデオ通話による面接等により志願者の能力・適性等を多面的・総合的に判断して合格者を決定します。